

類別：機械器具（01）手術台及び治療台
一般医療機器 一般名称：手術台システム JMDNコード：37325000

特定保守管理医療機器

販売名：MOT-8100分離式電動手術台

【警告】

1. 患者の任意の体位を確保するためにテーブルトップを屈折、また付属品で支持するときは、常に患者の状態を監視すること。
[長時間の体位は神経麻痺の原因となる。]
2. 使用前に電磁的影響による誤作動の有無を確認すること。
[併用する他の医用電気機器から、電磁的影響による誤作動が発生することがある。]
3. 他社製アクセサリ装着して使用する時は、ご購入店または弊社に相談すること。
[手術台のサイドレールまたは差込孔寸法が異なると装着できない。]

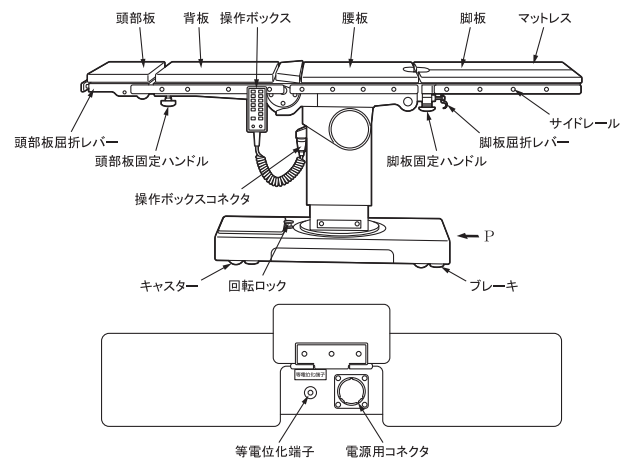
【禁忌・禁止】

1. 手術台の設置
本システムを設置するときは、次の事項をしないこと。
1-1. 凹凸のある床面に設置。
1-2. 位置を高くするために、ベースの下に当て物を挿入。
[転倒すると重傷事故または死亡事故につながる。]
2. 電源コードの取扱い
電源コードの上に重量物を置いたり、キャスター付の機器で乗り越えないこと。
[電源コードが破損して、火災や感電することがある。]
3. テーブルトップの分離・装着
テーブルトップの分離・装着時に、レール受とレールの間に指を入れないこと。
[指をはさまれ、切断または怪我をすることがある。]
4. 操作ボックスの取扱い
操作ボックスのコードを無理に引っ張ったり、強い衝撃を与えないこと。
[操作ボックスが破損して操作ができなくなる。]
5. ブレーキ解除
患者を載せた状態でブレーキ解除をしないこと。
[患者が転落することがある。]
6. 操作中の作動部
手術台の操作中、次の各作動部分の隙間に手を入れないこと。
6-1. 屈折操作中の背板と腰板の隙間
6-2. スライド操作中のフレームの裏側
[手や指を挟んで怪我をすることがある。]
7. テーブルトップの回転
テーブルトップに患者をのせた状態では回転しないこと。
[患者が転落することがある。]
8. テーブルトップの手動操作部
8-1. 頭部板や脚板の上には乗ったり座ったりしないこと。
[手術台が転倒することがある。]
8-2. 患者をベッドから移し替えるとき、または患者の体位を変えるときは、頭部板または脚板に無理な力を加えないこと。
[板が変形または破損することがある。]
9. 改造の禁止
手術台を分解または改造しないこと。
[故障の原因になる。]

【形状・構造及び原理等】

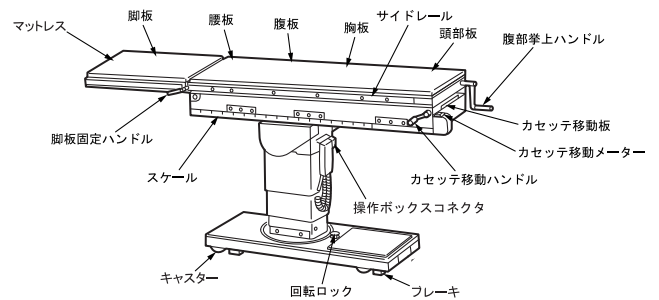
1. 形状・構造

- ① MOT-8100 コラム-100 mm Kタイプ /
MOT-8100 標準テーブル Kタイプ

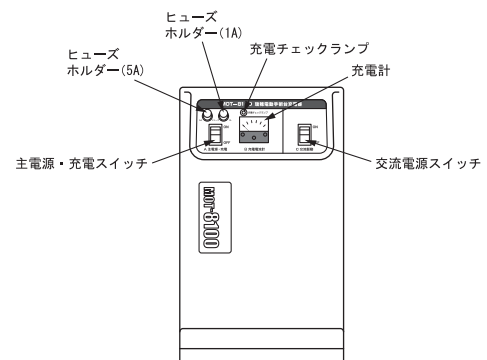


P 視点

- ② MOT-8100 腹部挙上テーブル Kタイプ

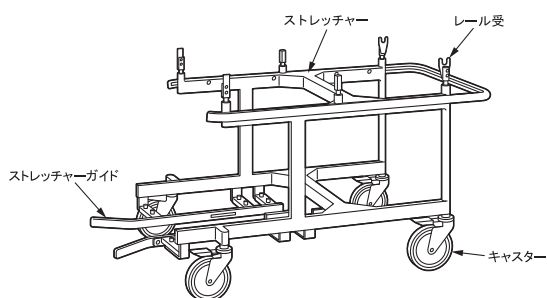


- ③ 充電器 8100

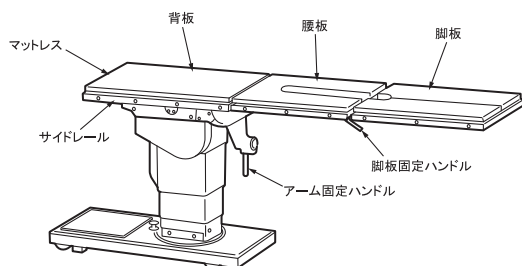


取扱説明書を必ずご参照下さい。

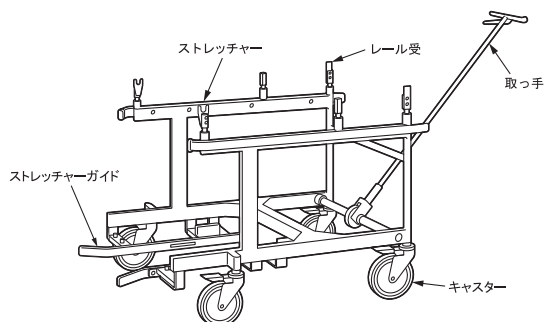
④ MOT-8100D Xストレッチャー Kタイプ



⑤ MOT-8100 整形テーブル



⑥ MOT-8100 整形D Xストレッチャー



商品コード	商品名 (構成品名)
08-001-23	MOT-8100 整形テーブル
08-001-32	MOT-8100 整形D Xストレッチャー
08-002-89	MOT-8100 コラム-100 mm Kタイプ
08-002-90	MOT-8100 腹部挙上テーブル Kタイプ
08-002-91	MOT-8100 標準テーブル Kタイプ
08-002-92	MOT-8100D Xストレッチャー Kタイプ
P 08-001-78	充電器 8100

2. 電気定格

JIS T 0601-1 による分類	クラス I 機器 (※内部電源機器) B 形機器 (※バッテリー電源使用時)
定格電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
定格電源入力	250VA
バッテリー電源	DC24V
作動電圧	DC24V

3. 外形寸法・質量

＜外形寸法＞

MOT-8100 コラム-100 mm Kタイプ	: 920 mm (長) × 420 mm (幅)
MOT-8100 腹部挙上テーブル Kタイプ	: 1910 mm (長) × 500 mm (幅)

MOT-8100 標準テーブル Kタイプ	: 1925 mm (長) × 500 mm (幅)
MOT-8100D Xストレッチャー Kタイプ	: 1350 mm (長) × 745 mm (幅) × 750 mm (高)
MOT-8100 整形テーブル	: 1890 mm (長) × 500 mm (幅)
MOT-8100 整形D Xストレッチャー	: 1200 mm (長) × 790 mm (幅) × 750 mm (高)

＜質量＞

MOT-8100 コラム-100 mm Kタイプ	: 207 kg
MOT-8100 腹部挙上テーブル Kタイプ	: 81 kg
MOT-8100 標準テーブル Kタイプ	: 66 kg
MOT-8100D Xストレッチャー Kタイプ	: 43 kg
MOT-8100 整形テーブル	: 69 kg
MOT-8100 整形D Xストレッチャー	: 42 kg

4. 作動原理

① テーブル分離・装着

結合コネクタとテーブルトップのコネクタが結合すると、コラムからテーブルトップのモーターに電気信号が送られてモーターが回転する。テーブルトップのモーターが回転すると、同時にロックネジが回転する。ロックネジが回転してコラムのテーブルロックネジと結合することで、テーブルトップがコラムに装着する。ロックネジが逆に回転すると、テーブルトップがコラムから分離する。

② 昇降・縦転・横転・屈折・スライド機構

操作ボックスからの電気信号によってモーターが回転する。モーターの回転力は同芯上の歯車減速器及び歯車によって減速・変向する。減速または変向された回転力は、各機能を作動するフレームに固定された同芯上の歯車を回転させるので、各機能が作動する。

【使用目的、効能又は効果】

本品は、完全な手術台設備を構成するコンポーネントからなるシステムである。テーブルトップの交換、患者の位置変換、手術室への患者の搬入出ができる。コラム (コラム)、取り外し可能なテーブルトップ、手術台を操作するためのリモコン (操作ボックス)、搬送台車 (ストレッチャー) から構成される。

【品目仕様等】

1. 機能

＜MOT-8100 腹部挙上テーブル Kタイプ＞

電動

① 昇降範囲 (標準)	最高位	: 1160 mm
(注)	最低位	: 800 mm
(-50)	最高位	: 1060 mm
	最低位	: 745 mm
(-100)	最高位	: 965 mm
	最低位	: 705 mm
(-150)	最高位	: 860 mm
	最低位	: 650 mm
② 縦転角度	頭上がり	: 30°
	頭下がり	: 25°
③ 横転角度	右下がり	: 20°
	左下がり	: 20°
④ スライド量	頭方向	: 250 mm
	脚方向	: 545 mm
⑤ 自動水平復帰	縦転/横転/スライド	
⑥ その他	コラム固定/ブレーキ解除	
⑦ 操作機器	操作ボックス	
注: コラムにテーブルトップを装着した状態		

手動

① 脚板屈折角度	下がり	: 90°
② 腹部挙上	上がり	: 150 mm
③ カセット移動	移動量	: 1510 mm
④ 取外し	脚板	

取扱説明書を必ずご参照下さい。

- ⑤ コラム旋回角度 時計方向 : 180°

<MOT-8100 標準テーブル Kタイプ>

電動

- ① 昇降範囲(標準) 最高位 : 1070 mm
(注) 最低位 : 710 mm
(-50) 最高位 : 970 mm
最低位 : 655 mm
(-100) 最高位 : 875 mm
最低位 : 615 mm
(-150) 最高位 : 770 mm
最低位 : 560 mm
- ② 縦転角度 頭上がり : 30°
頭下がり : 25°
- ③ 横転角度 右下がり : 20°
左下がり : 20°
- ④ 背板屈折角度 上がり : 90°
下がり : 40°
- ⑤ 自動水平復帰 縦転/横転/背板屈折
- ⑥ その他 コラム固定/ブレーキ解除
- ⑦ 操作機器 操作ボックス

注: コラムにテーブルトップを装着した状態

手動

- ① 頭部板屈折角度 上がり : 60°
下がり : 90°
- ② 脚板屈折角度 下がり : 90°
- ③ 脚板展開角度 左右各 : 90°
- ④ 取外し 頭部板/脚板 (左右)
- ⑤ コラム旋回角度 時計方向 : 180°

<MOT-8100 整形テーブル>

電動

- ① 昇降範囲(標準) 最高位 : 1075 mm
(注) 最低位 : 715 mm
(-50) 最高位 : 975 mm
最低位 : 660 mm
(-100) 最高位 : 880 mm
最低位 : 620 mm
(-150) 最高位 : 775 mm
最低位 : 565 mm
- ② 縦転角度 頭下がり : 25°
頭上がり : 30°
- ③ 横転角度 右下がり : 20°
左下がり : 20°
- ④ 背板スライド量 脚方向 : 200 mm
- ⑤ 腰板屈折角度 下がり : 90°
- ⑥ 自動水平復帰 縦転/横転/背板スライド/腰板屈折
- ⑦ その他 コラム固定/ブレーキ解除
- ⑧ 操作機器 操作ボックス

注: コラムにテーブルトップを装着した状態

手動

- ① 脚板屈折角度 下がり : 90°
- ② 取外し 頭部板/脚板 (左右)
- ③ コラム旋回角度 時計方向 : 180°

2. 外観

目視検査にて表面に機能を損なうような欠陥又は汚染物を認めないこと。

【操作方法又は使用方法等】

詳細については取扱説明書を参照すること。

1. AC電源による使用

1-1. 電源の入れ方

1. 充電器の電源コードを電源用コネクタと医用コンセントに差し込む。

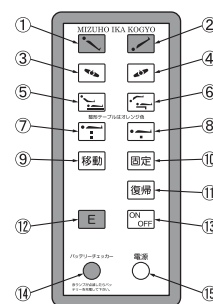
2. 充電器の交流電源スイッチをONにする。操作ボックスの電源ランプが点灯して電源が入る。

1-2. 電源の切り方

充電器の交流電源スイッチをOFFにする。捜査ボックスの電源ランプが消灯して電源が切れる。

2. 操作ボックスの使い方

操作ボックスは各機能スイッチと同時にEスイッチを押す。スイッチを押す間は機能が作動して離すと停止。各機能は最大限に達すると停止する。



- ① 縦転 : 頭上がり
② 縦転 : 頭下がり
③ 横転 : 右下がり
④ 横転 : 左下がり
⑤ 背板屈折《スライド》: 上がり《脚方向》
[腰板屈折] [頭スライド→上がり]
⑥ 背板屈折《スライド》: 下がり《頭方向》
[腰板屈折] [下がり→脚スライド]
⑦ 昇降 : 上昇
⑧ 昇降 : 下降
⑨ ブレーキ解除
⑩ コラム固定
⑪ 水平復帰
⑫ Eスイッチ
⑬ バッテリー電源ON/OFFスイッチ
(バッテリー電源操作)
⑭ パワーランプ
⑮ バッテリーチェッカーランプ

※⑤・⑥

《 》は MOT-8100 腹部筆上テーブルKタイプ
[] は MOT-8100 整形テーブル

3. バッテリー電源による使用

3-1. 電源の入れ方

操作ボックスのバッテリーON/OFFスイッチを押す。電源ランプとバッテリーチェッカーランプが点灯して電源が入る。

3-2. 電源の切り方

操作ボックスのバッテリーON/OFFスイッチをOFFにする。電源ランプとバッテリーチェッカーランプが消灯して電源が切れる。

4. テーブルトップの装着・分離

4-1. 装着

1. コラムのストレッチャーガイドに合わせて、取付可能なテーブルトップを載せたストレッチャーのストッパーがコラムの昇降カバーに当たるまで挿入する。
2. 操作ボックスでコラムを上昇する。テーブルトップがコラムに装着する。
3. テーブルトップを装着したのを確認して、コラムが最高位に達するまで上昇する。
4. 最高位に達して停止したのを確認して、テーブルトップを装着したストレッチャーをコラムから引き抜く。

4-2. 分離

1. コラムに装着した状態のテーブルトップを水平位にする。
2. テーブルトップを最高位になるまで上昇する。
3. コラムのストレッチャーガイドに合わせて、ストレッチャーのストッパーがコラムの昇降カバーに当たるまで挿入する。
4. 操作ボックスでテーブルトップがストレッチャーのレール受手前で停止するまで下降する。停止すると、テーブルトップがコラムから分離する。
5. テーブルトップを分離したコラムが最低位になるまで下降する。
6. 最低位に達したらストレッチャーをコラムから引き抜く。

【使用上の注意】

詳細については取扱説明書を参照すること。

1. 警告

- 1-1. 頭部板固定ハンドルは必ず締めること。ゆるんだ状態では頭部板が動いて、患者に障害がおきることがある。
- 1-2. 脚板固定ハンドルは必ず締めること。ゆるんだ状態では脚板が動いて、患者に障害がおきることがある。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

2. 注意

- 2-1. 操作ボックスのコードをストレッチャーに引っ掛けないこと。コードが引っ張られ破損することがある。
- 2-2. 昇降範囲-100 および-150 のコラムにストレッチャーを装入するときは、頭方向から装入しないこと。昇降を最低位まで作動した時にコラムが破損することがある。
- 2-3. ストレッチャーのレール受の位置にある付属品は取外す。またはレール受の位置からずらすこと。付属品がレール受に当たり破損することがある。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 設置環境

JIS T 0601-1 医用電気機器

ー安全に対する一般的要求事項 : 環境条件

周囲温度範囲 : 10℃～40℃

相対湿度範囲 : 30%～75%

気圧範囲 : 700hPa～1060hPa

2. 耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合 : 10 年 (※)

[自己認証 (弊社データ) による]

※ 耐用期間内であっても、使用状況または使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要。

但し、一般市販品の部品については、製造元の事情 (製造期間終了・製造中止等) により、耐用期間内であっても部品供給による交換ができなくなる場合がある。

3. 定期交換部品

部品名	交換時期
バッテリー	2～3 年
操作ボックス	4～6 年
キャスター	5～7 年
ブレーキゴム	3～5 年
電源コード	5～7 年

【保守・点検に係わる事項】

＜使用者による保守点検＞

使用者は手術台の使用前・使用後に必ず下記点検事項及び清掃・消毒を実施すること。

1. 使用前・使用後の点検事項

- ① バッテリー充電状態
バッテリーは充電された状態か。
- ② スイッチ類
スイッチ類 (ON/OFF) は確実に作動するか。
- ③ ストレッチャー
ストレッチャーの直進・フリー・固定およびキャスターの固定が確実に行えるか。
- ④ 分離・装着
テーブルトップとコラムの分離・装着が確実に行えるか。
- ⑤ 操作ボックス
操作ボックスの各機能 (ブレーキ・昇降・縦転・横転・背板屈折・水平復帰) は確実に作動するか。
- ⑥ 頭部板
頭部板の屈折が確実に行えるか。
- ⑦ 脚板
脚板の屈折・展開が確実に行えるか。
- ⑧ テーブルの回転
テーブルトップの回転が確実に行えるか。

2. 清掃・消毒の手順

1. 電源を切って、電源コードを医用コンセントから外す。
2. 使用する消毒剤の表示または説明書の内容を確認する。
3. 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒剤を浸したガーゼ等で清拭する。

＜業者による保守点検＞

1. 定期点検

本装置を安全に使用するために、1 年に 1 回のメーカーによる定期点検をご提案する。希望される場合は、ご購入店または弊社にご相談すること。

2. 修理・調整

修理及び調整は弊社及び弊社が認めた修理業者のみが実施可能。それ以外の業者による修理、調整や保守点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下及び過度の点検修理費用の発生等の事態を招くおそれがある。

本装置が故障したと思われる時は、後述の処置を行い、ご購入店または弊社に連絡すること。

① 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外す。

② 本装置に「故障」・「使用禁止」・「修理必要・点検必要」等の適切な表示をする。

【包装】

1 台 1 包装

【保証期間に係わる事項】

本品は納品/設置してから一年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者 : ミズホ株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3 丁目 30 番 13 号

TEL 03(3815)3097

製造業者 : ミズホ株式会社千葉工場

取扱説明書を必ずご参照下さい。